

令和5年度 芸術科（音楽）

教科	芸術	科目	音楽 I	単位数	2 単位	年次	1 年次
使用教科書	MOUSA 1 (教育芸術社)						
副教材等	MUSIC NOTE						

1 担当者からのメッセージ（学習方法等）

- ・「歌唱」「器楽（楽器演奏）」「創作（音楽理論・作曲など）」「鑑賞（音楽史含む）」の4つの分野で年間通じて学習します。
- ・学習の到達度は、実技テスト、提出物、ペーパーテストで評価します。
- ・音楽の学習では、個人の音楽的な諸能力を伸ばすだけでなく、合唱や合奏など他の人と一緒に演奏することにより、協力して一つの音楽を作り上げる体験をすることができます。
- ・音楽を学ぶことが、演奏技術や音楽的感性を伸ばすことだけでなく、生涯にわたって音楽を愛好していく態度や姿勢を養えることを願っています。

2 学習の到達目標

音楽の幅広い活動を通じて、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばし、音楽文化について理解を深める。

3 評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観 点 の 趣 旨	<ul style="list-style-type: none"> ・曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性などについて理解を深めている。 ・創意工夫などを活かした音楽表現をするために必要な技能を身につけ、歌唱、器楽、創作などで表している。 	<p>音楽を形作っている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように表すかについて表現意図を持ったり、音楽を評価しながらよさや美しさを味わって聴いたりしている。</p>	<p>音や音楽、音楽と豊かに関わり主体的、協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。</p>
<p>上に示す観点に基づいて、学習のまとめりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。</p>			

※令和5年度以降入学生用

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1	基本的な発声	【歌唱】 校歌「香里丘高校」 「翼をください」 「少年時代」 「花」	a: 歌う喜びを味わい、イメージを持って歌うことに主体的に取り組もうとしている。 b: 音楽を形作っている要素を理解して、それらの働きが c: 主体的に表現したいことを伝えるための歌唱の技能を身につけている。	演奏の聴取	観察	実技テスト
	リコーダー二重奏	【器楽】 「見上げてごらん夜の星を」	a: アルトリコーダーの基本奏法を確認しながら、正確に演奏できるように主体的に取り組む b: 曲種にあった表現をめざす c: 豊かな表現をめざす。	演奏の聴取	観察	実技テスト
2	合唱グループ発表	【歌唱】 「ぼくは ぼく」	a: ソプラノ、アルト、男声でそれぞれのパート練習を意欲的に取り組む。 b: 曲種にあった発声がめざす。 c: ハーモニーや歌詞について豊かな音楽表現をめざす。	演奏の聴取	観察	実技テスト
	ギターコード演奏	【器楽】 「大きな古時計」 【創作】 ギターコードの理解	a: 基本的なコード奏法を主体的に取り組む b: コードの音楽理論の基本を理解して、演奏で音楽的な進行を味わう。 c: 基本的な奏法から、弾き語りをを行い、豊かな音楽表現をめざす。	演奏の聴取	プリント観察	実技テスト
3	鑑賞	【鑑賞】 「ボレロ」	a: 管弦楽扱われる楽器の音色や旋律、リズムの特徴などに関心を持ち、主体的に取り組む d: 音楽を形作っている要素を理解し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気等を感じながら、音楽に対する理解を深める。	レポート発表	プリント	レポート提出

※令和5年度以降入学生用

	発声の発展	<p>【歌唱】</p> <p>「Caro mio ben」</p> <p>「Tonight」</p>	<p>a: 外国語の歌をテーマに取り組み、異文化を理解するとともに主体的に取り組めること。</p> <p>b: 発声の応用として、ベルカント唱法を目標にして、曲種にあった豊かな表現をめざす。</p> <p>c: 表現したいことを伝えるための歌唱の技能を身につけている。</p>	演奏の聴取	観察	実技テスト
--	-------	--	--	-------	----	-------

※ 表中の観点について a:知識・技能 b:思考・判断・表現 c:主体的に学習に取り組む態度